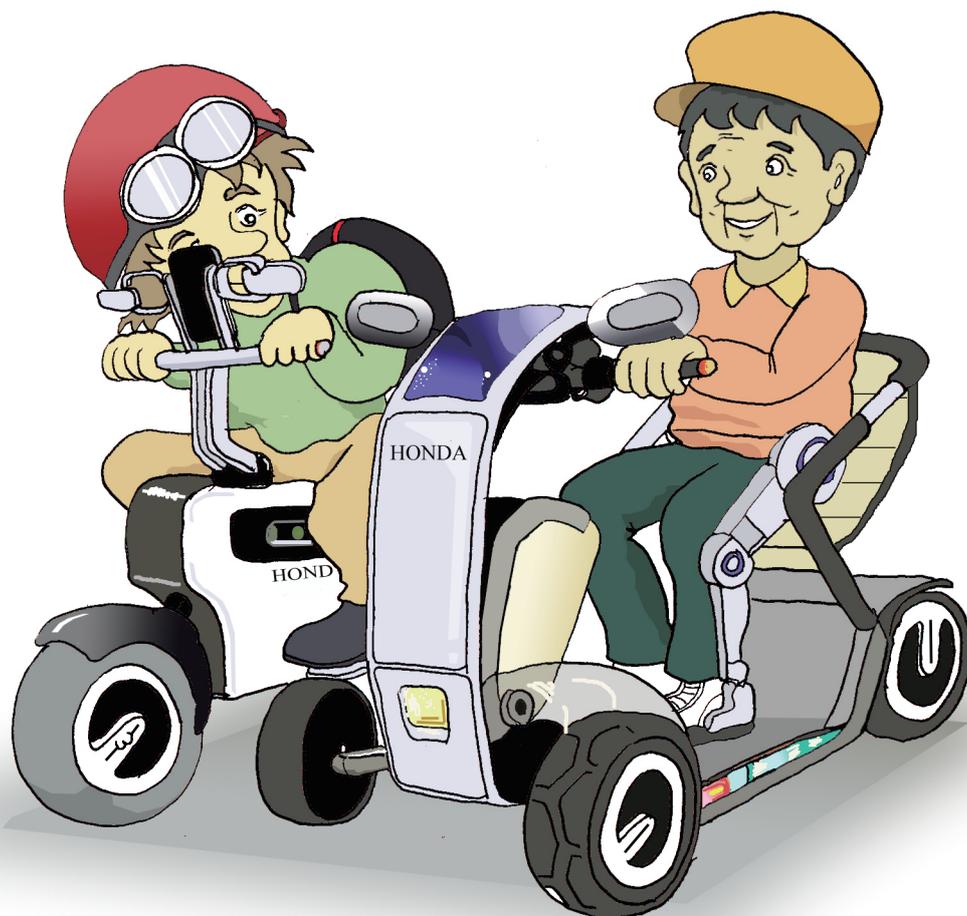


かくどけい

KAKUDOKEI 2012

103号



社団法人熊本県理学療法士協会
広報誌「かくどけい」
平成 24 年 5 月 28 日 発刊



- 001 巻頭言 「平成 24 年度を迎えて思うこと」 北里堅二
- 002 理事会報告
- 008 各部・委員会報告
- 渉外部
- 厚生部
- 保険部
- 教育部
- 表彰審査委員会
- 宣伝部
- 学術事業部
- 規約審議委員会
- 福祉部
- 学術部
- 生涯学習部
- 013 学術事業部による文献紹介公募のお知らせ
- 014 事務局だより
- 015 平成 24 年度公益財団法人肥後医育振興会医学研究助成金応募案内
- 016 くまもと北から南から
- 018 大観望 「減災リハビリテーションマネジメントのすすめ」 溝田康司
「伝える力」 坂田大介
- 019 他土会便り 「魔法の言葉」 福岡県 No. 186
学会・研修会のお知らせ
- 020 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 021 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 022 国際医療福祉大学大学院紹介
賛助会員一覧
- 023 事業予定表
「かくどけい」投稿規定
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 平成 24 年度を迎えて思うこと 』

社団法人 熊本県理学療法士協会
会長 北里堅二(菊南病院)

平成 24 年度最初の機関紙「かくどけい」の発行にあたり、ひとこと御挨拶申し上げます。

昨年度は未曾有の災害となった東日本大震災を始め、台風や豪雪など自然の驚異の前には人間はなんとささやかな生きものであり、ゆえにその日常の何気ない暮らしが如何に幸せであるのかを痛感させられた年であったように思います。

あの地震およびそれに伴う原子力発電所の事故から 1 年以上がたち、現地の復興も徐々に進んできてはいるようですが、ガレキ処理等、残されている課題も多いのが現状です。その中で、この夏の電力不足についての報道を耳にすることが最近増えているように思います。はたして国は日本の長期的エネルギー政策に関し、確固たる方針を示しているのでしょうか。ドイツのように原発に依存しない体制を目指すのか、または、安定したエネルギー源として原子力を利用してゆくのか。前者なら、原子力に替わるエネルギーを如何に確保してゆくか青写真を描くべきだし、後者なら原子力の安全性をどのような基準の下、どうやって高めてゆくかを早急に検討すべきです。いずれにしても、それぞれのメリット・デメリットを専門的な見地から国民にわかりやすく説明し、その上で国民の意見を十分に聞いて方針を決定すべきだと思います。しかし、現在聞こえてくるのは当面の電力不足を補うため、ストレステストという曖昧な基準を基にした原発の再稼動が前提となった政府および電力会社の対応ばかり。専門的な情報を分かりやすくかつ速やかに伝達することの重要性は、今回の地震や津波、それに伴う原発事故の発生時に教訓として身に染みはずではなかったのでしょうか。

熊本県理学療法士協会にとっても、昨年度から今年度にかけては色々な変化の時期となっています。今年度初めから新公益法人格を取得するつもりで準備をしてきましたが、残念ながら 3 月の審議会では継続審議となりました。今後も継続して公益法人を目指すつもりです。また、広報誌「かくどけい」はホームページの掲載のみとなり、情報の伝達の中心がホームページとなります。日本理学療法士協会の新人教育プログラムなど生涯教育システムの単位管理は日本理学療法士協会ホームページ上で個人が責任を持ってやるシステムに変わります。会員の皆様には自ら積極的に情報の収集と管理に当たっていただくことをお願いしなければなりません。これらの変化に対し、熊本県理学療法士協会は、正確で分かりやすい情報をタイムリーに会員の皆様にお届けするとともに、一般の皆様にも専門的な情報を分かりやすく、丁寧にお伝えする努力を怠らないようにしてゆきたいと思います。理学療法を通じて県民の皆様の医療・保健・福祉に貢献してゆくという熊本県理学療法士協会の基本方針を達成するために。

末尾となりましたが、平成 24 年度も「かくどけい」を御一読くださる皆様にとってご健勝の日々が続きますことを祈念いたしまして、巻頭言の結びとさせていただきます。



理事会報告

平成23年度 第12回理事会議事録(要約版)

日時：平成24年2月1日(水)19:00~22:00

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・
三宮・田島・筒井・増田・光本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)野津原・野間

(監事)寺川・中島

(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野・坂本

書記：力武・木村(熊本セントラル病院)

1. 報告事項

1)特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)現状の修正はほぼ完了。2月2日の14時に医療政策課津田参事へ提出予定。3月の審議会に間に合えば4月1日より公益法人になる可能性がある。間に合わなければ次年度に持ち越し。

◇情報共有推進化特別委員会

(田島)予算の見直し中。

◇訪問リハ対策特別委員会

(大脇)2月5日に排痰吸引の研修会を熊本保健科学大学で実施予定。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)2月19日開催の熊本城マラソン対応について野間理事を中心に準備中。

(会長)「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係政令等の整備等に関する政令」等の施行に伴う政局関係法令の改正についてプロジェクトチームを編成して県(行政)への参画の糸口とする。

◇組織検討特別委員会

(会長)1月19日に検討委員会を実施。新組織図案と分掌規程案を作成中。組織改定の方向性について総会に提出し承認を得たい。

2)在宅サービス手引書編集委員会報告

【川上理事】

(川上)1月25日に熊本市医師会館で行われた。web版を8月に改定予定。

3)熊日タウン PACKET 掲載について

【スポーツ領域小委員会】

掲載目的：平成23年度第2回テーピング講習会
(足関節編)広報

開催期日：平成24年月26日(日)

掲載日：1/22(日)・2/5(日)の2回掲載予定

4)平成23年度研修会等の変更について

○介護保険領域における研修会 【福祉部】

【変更前】期 日：平成24年2月

【変更後】期 日：平成24年2月4日(土)

2. 協議事項

1)組織図及び分掌規程案について

【組織検討特別委員会】

(会長)新組織図に沿って分掌規程を作成している。今回の組織の改定で大きいところを挙げると、委員会のならびに政策企画室を作っている。これは理事会に対してご意見番のような役割で、様々な情報を収集・分析してその結果を今後の方向性をつけるために反映できるように理事会に提言するというのが大きな役割となっている。

以下主な変更点は、

<常設委員会>

組織体制審議委員会(新設)：

規約審議委員会を発展。

倫理委員会(新設)：

表彰審査委員会の中の倫理規程の部分と表彰審査委員会の中の罰則を中心に懲罰に関するところを担当する委員会。

<事務局・教育学術局・地域局・社会局>

- ・地域局はブロックを統括する部分。
- ・教育学術局の中に専門領域研究部を新設。
- ・ブロックは熊本市の地区をブロックに格上。
- ・社会局の中の公益事業推進部は事業部と学術事業部の一部と渉外部を合わせた組織。
- ・福祉部を保健福祉部ということで保健領域もこの中に入れている。
- ・保険部は医療保険部と介護保険部の2つに分けている。

・広報宣伝部は外的な広報を中心に行う。内的な広報は事務局の中のホームページ管理部を中心に情報発信を行っていく。
(会長)理事会での意見を踏まえ再検討をすすめ総会に提出する。

2)卒業式日程調整について 【事務局】

- 3/ 3(土)西日本リハビリテーション学院
⇒前田副会長出席
- 3/ 9(金)九州中央リハビリテーション学院
⇒坂崎事務局長出席
- 3/10(土)熊本総合医療リハビリテーション学院
⇒北里会長出席
- 3/10(土)熊本駅前看護リハビリテーション学院
メディカル・カレッジ青照館
⇒大島副会長出席
- 3/17(土)九州看護福祉大学
⇒筒井理事出席
- 3/ 9(金)熊本保健科学大学
⇒北里会長出席

3)熊本城マラソン支援の必要物品購入について 【渉外活動推進特別委員会】

(坂崎)当日必要と思われる物品を購入予定。費用は全部含めると大枠で10万円程度になる。予算は予備費から出す予定。

4)広報部部長の交代について 【広報部】

(坂崎)後任に現副部長である熊本機能病院の坂田大介氏を推薦する。
(理事)承認(11名/11名)

5)保険部部長の交代について (第10回理事会継続審議) 【保険部】

(会長)後任に熊本第一病院の河島英夫氏を推薦する。
(理事)承認(11名/11名)

6)渉外セットについて(第10回理事会継続審議) 【渉外活動推進特別委員会】

(坂崎)渉外活動費の次年度予算計上として握力計・簡易ベッド等¥221,600概算の費用を算出した。
(会長)次年度の予算として計上する。
(理事)承認(11名/11名)

7)平成24年度事業計画(案)・予算(案)について (第10回理事会継続審議) 【事務局】

(坂崎)総会は、平成24年3月11日10時から開始。場所は熊本総合医療リハビリテーション学院の3階講堂で行う予定。会議次第は1. 開会の辞、2. 会長挨拶、3. 定足数報告、4. 議長選出、5. 書記任命、6. 議事録署名人任命。この後に選挙、投票を行う。その後、8. 議事となる。第1号議案として平成23年度補正予算に関する件、第2号議案として補正予算が通ったことを前提に平成24年度事業計画(案)・予算(案)に関する件となる。9. 選挙結果報告が選挙管理委員会から行われ、10. 議長解任、11. 閉会の辞という流れで行う。

(会長)了解。
(坂崎)平成23年度補正予算に関する件について周年事業準備積立預金取得支出に補正予算をプラスして「PTあ(ピタ)っと健康講座」の10周年のビッグイベントに対する費用として使用する。公益法人設立記念事業準備積立預金取得支出に補正予算をプラスして「公益法人設立記念の祝賀会」を次年度開催する予定。これらを投資活動支出として次年度の活動に充てたい。

(会長)承認。
(坂崎)事業計画について、変更箇所の確認
(坂崎)予算について、変更箇所の確認
公益事業比率は62.1%となっている。

内部留保は今年の内補正予算で動かして来年に充当する。

(会長)予算案も踏まえて質問は?

(理事)なし

(坂崎)平成24年度の収支予算について資金調達及び設備投資の見込みについて

(会長)次年度は資金調達、設備投資の見込みは無いということでよいか。

(理事)承認(11名/11名)

8)その他

・ブロック訪問について

(飯星)ブロック訪問を2月に予定しているので、日時を決める必要がある。

2/15(水)：県南ブロック

2/21(火)：熊本市ブロック

2/23(木)：県北ブロック

2/27(月)：八代ブロック

3/ 2(金)：天草ブロック

以上、閉会

平成23年度 第13回理事会議事録

日時：平成24年3月11日(日)9：00～9：50

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・

三宮・田島・筒井・野津原・野間・増田・光本

(監事)寺川・中島
(相談役)森重
(総会議長)石原(九州中央リハビリテーション学院)
書 記：仙頭(谷田病院)・酒見(有明成仁病院)

講師：澤口俊之氏(人間性脳科学研究所所長)、
調整中

1. 報告事項

1)障がいのある人もない人も共に生きる熊本 づくり条例県民説明会 【前田副会長】

行政説明と意見交換・質疑応答
県民の理解を深めるためには、医療保健福祉団体や関係団体との共同で啓発活動などを進めることを提案した。

2)高齢者プログラムのスキルアップ 【前田副会長】

県内5ヶ所にある青少年自然の家に勤務する職員を対象に高齢障害の説明と運動の必要性について講義を行った。

3)医専連シンポジウムについて 【田島理事】

平成24年度医専連シンポジウムの担当
：増田理事

4)第5回熊本県保健・医療・福祉連携学会への 動員お願い 【野間理事】

(野間)第5回熊本県保健・医療・福祉連携学会が、3/20(火)に崇城大学市民ホールで開催される。是非とも動員をお願いしたい。動員は5名。しかし、参加者が少ない状況。
(会長)パンフレット等も既に配布済み。本日の総会でも会員に対して参加を呼びかける。

5)平成24年度研修会等の変更について ○第1回学術研修会 【学術部】

【変更前】「ボバースアプローチの臨床応用」
【変更後】「ボバースアプローチの臨床実践」

○管理者教育カリキュラム(第1ステージ) 第3クール 【教育部】

【変更前】講師：吉田道雄氏(熊本大学)、調整中
【変更後】講師：吉田道雄氏(熊本大学)、
菊池 健氏(熊本大学附属病院)

○第10回『PTあ！(ピタ)』っと健康講座【事業部】 【変更前】

講師：澤口俊之氏(人間性脳科学研究所所長)、
森岡 周氏(畿央大学理学療法学科教授)

【変更後】

2. 協議事項

1)第2回総会の進行について 【事務局】

(坂崎)会長挨拶に続いて定足数の報告を行う。委任状が900程度・参加者は100名で、定足数は足りているため総会は成立する。議長はフロアに確認後いなければ、九州中央リハ学院の石原氏を理事会から推薦の予定。書記の任命もフロアに確認後、立候補無ければ理事会より谷田病院の仙頭氏・有明成仁病院の酒見氏を推薦する。議事録署名人の選任は事前に熊本保健科学大学の岩下氏・東整形外科の水田氏に内諾を得ており、確認の後に承認を得る。

「7.選挙」「9.選挙結果報告」については選挙管理委員会委員長より報告があると思うが、今回は定数内で選挙に至らなかったとの報告でよいか。また、監事の不足については。

(会長)監事の不足については寺川監事を理事会より推薦。承認を頂くということによろしいか?
(理事)全員一致

(坂崎)理事については、現行理事に加えて勝久病院の佐藤氏が立候補。選挙結果は定数内で選挙が行われなかったことを報告する。

次に1号議案の補正予算については、経緯についてプレゼンと資料1～3で説明。臨時総会后より平成23年度の予算の振り分け方が変更になり、資料4に差し替えたことを報告する。補正予算の概要として、①公益法人取得を前提に周年事業等を行うための積立金として100万。②法人設立記念式典を行うための積立金として150万。この2点を平成23年度に於ける補正予算の議題として審議して頂く予定。1号議案が承認されないと2号議案の24年度の事業計画・予算の審議に入れないため、それぞれの議案に対し質疑応答を行い、参加者のフロアの挙手の確認をして承認を頂く。以上が理事会からの議案となるが、石原議長には、その他議題や質問等が無いか確認を取っていただき、あれば理事の方で対応する。引き続き選挙結果について報告を行う。理事立候補者の名前を挙げていただき、不足の監事については寺川監事を理事会より推薦し、参加者の挙手にて承認をいただく。以上をもって議題が終了し閉会とする。

(大島)本日は3/11は東北大震災の1周年ということで開会に先立ち黙祷をささげてはどうか?

(会長)大島副会長には黙祷の号令をお願いします。

2)平成23年度事業計画並びに予算の修正に

ついて

【事務局】

(坂崎)本来は会員に資料を配布する前に、理事会で確認をいただく予定であったが、最終確認が取れたのが2月27日。その為、三役に承認をいただいた後に、会員への資料配布を行った。事後報告になるが承認をいただきたい。

(会長)修正について承認される理事は挙手を。

(理事)全員承認

3)平成23年度事業監査日程について 【事務局】

(会長)4月16日(月)18:00~事務局で監査を行う。それまでに事業報告書等の準備をお願いする。特別委員会も5月の総会で報告を行うので、例年通り報告書作成を含めお願いする。

4)第64回「保健文化賞」候補者の推薦について

【事務局】

対象:

1. 保健衛生(関連する福祉等を含む)を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
2. 保健衛生(関連する福祉等を含む)の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人

(会長)理事にはメールでお知らせしていたが、どなたか推薦は?

(理事)~推薦無し~

(会長)今回は見送りということによろしいか?

(理事)全員了解

5)復職支援事業に関するアンケートについて

【厚生部】

(光本)対象は自宅会員に向けてのアンケート。回答の締め切りは9/30となっており、来年度の事業として考えている。今後、理事会で意見をいただきながら進めていきたい。次回の理事会までに資料に目を通していただきご意見を伺いたい。

6)入学式の調整について

【事務局】

(会長)出席者について調整頂きたい。

- ・ 4/2 熊本保健科学大学:北里会長
- ・ 4/7 駅前看護リハ/青照館:大島副会長
- ・ 4/7 西日本リハ学院:野間理事
- ・ 4/7 九州中央リハ学院:前田副会長
- ・ 4/7 熊本リハ学院:野津原理事

(会長)九州看護福祉大学については、今後連絡が入り次第対応を考える。

7) 県北ブロック長交代について 【飯星理事】

(飯星)酒見亮氏(有明成仁病院)から菅原大志(デイサービスセンター菖蒲苑)検討をお願いしたい。(会長)承認される方は挙手を。

(理事)全員承認

8) 倫理担当者選任のお願い

【事務局】

(坂崎)日本理学療法士協会より倫理等に関する担当者を選任して頂きたいとの依頼あり。回答メ切は3/31(土)

(会長)理事でも構わないか?

(坂崎)特に問題は無い。

(会長)全国的に見て色々な不祥事が起こっている。今まで倫理関係表彰委員会が少し関わってきた経緯はあるが、初めは理事が対応した方が良いと思うが、どなたか適任者の推薦はないか?

(野間)増田理事を推薦する。

(会長)増田理事はどうか?

(増田)了承。

9)その他

・事務備品について

(大島)学会、研修会等で横断幕を各部で作成しているが、一部の施設で作成しており負担をかけている状況。横断幕専用のプリンターを協会の備品として購入が出来ないか今後検討していただきたい。

(野間)いくらぐらいなのか?

(坂崎)40~50万位か。

(大島)A4サイズのロール紙対応のプリンターであれば安く購入できると思うが。

(田島)市販のロール紙対応プリンターが果たして使えるものか、金額を含めて確認を行う。

(会長)市役所へ確認と、プリンター・ソフトの購入金額の確認をお願いする。

・理学療法白書について

(坂崎)日本理学療法士協会から理学療法白書が届いている。紙版が2部とDVDがある。渉外活動にも使用できるため理事の方で必要な方は申し出て欲しい。

★次回理事会:平成24年4月4日(水)

第1回拡大理事会・第1回理事会(4/4)

書記調整:飯星理事

第2回理事会(4/25)書記調整:大協理事

以上、閉会

平成23年度 第2回総会議事録

日時：平成24年3月11日(日)10:05～11:00

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・
三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事)寺川・中島

(相談役)森重

(議長)石原(九州中央リハビリテーション学院)

(議事録署名人)岩下(熊本保健科学大学)
水田(東整形外科)

(書記)仙頭(谷田病院)・酒見(有明成仁病院)

欠席者：

(理事)野間

(坂崎)選挙及び選挙結果報告が予定されていたが、立候補者が定数以内ということで、選挙を割愛し選挙結果報告の中で報告させて頂く。

1. 開会の辞 (大島副会長)

2. 会長挨拶 (北里会長)

(会長)本日は平成24年度の事業計画及び予算を審議して頂く総会になる。これまで公益法人格の取得に向けて活動を続けてきたが、上手くいけば24年度からは公益社団法人としての活動ができるのではと思っている。次年度以降に向けて重要な年度計画になるので審議の程よろしく願いたい。

3. 定足数報告 (坂崎専務理事)

(坂崎)現在会員数：1,679名、委任状：916通、現在の出席者数：108名。定款に定める定足数を満たし、本会が成立したことを報告する。

4. 議長選出

(坂崎)本総会の議長選出を行いたい。出席会員の中で議長を引き受けて下さる方は挙手にてお知らせ願いたい。～挙手無し～ 理事会からの推薦で良いか。

(会場) 一拍手・承認一

(坂崎)九州中央リハビリテーション学院の石原氏に願いたい、いかがか？

(会場) 一拍手・承認一

(坂崎)宜しく願います。

5. 書記任命

(石原議長)書記を引き受けて下さる方は挙手を願いたい。

～挙手無し～ 無ければ理事会の推薦でよいか？

(会場) 一拍手・承認一

(石原議長)仙頭氏(谷田病院)・酒見氏(有明成仁病院)に願いたい。

(会場) 一拍手・承認一

6. 議事録署名人任命

(石原議長)フロアで議事録署名人を引き受けてくださる方は挙手を願いたい。～挙手無し～

挙手がないので議長推薦で岩下氏(熊本保健科学大学)・水田氏(東整形外科)に願いたい。

(会場) 一拍手・承認一

(石原議長)議事に移る。説明頂きたい。

7. 議事

1) 第1号議案：平成23年度補正予算に関する件
(坂崎)昨年9月11日の臨時総会にて法人申請に向け事業の振り分けと遊休資産の用途について審議・承認を頂き微細な変更については理事会で対応することも含めて承認を頂いた(資料1)。10月20日には公益法人の申請手続きを行った。その後、県の指導に基づき必要書類を再作成した。予算の総額は変わらないが事業分類が若干変更となった(資料2、3)

資料3で示す通り、予算総額として変わっていないが事業費・管理費の内訳が変更になったため、第1号議案の資料として配付した平成23年度補正予算書を資料4と差し替えて頂きたい。先の臨時総会後の県とのやり取りの中で、事業振り分け・予算振り分けを変更することとなり資料4をもって第1号議案の説明をする。概要として、①公益法人取得を前提に周年事業等を行うための積立金として100万。②法人設立記念式典を行うための積立金として150万。この2点を平成23年度に於ける補正予算の議題として審議頂きたい。

(石原議長)フロアより質問等あれば挙手を。

～質問等無し～

(石原議長)第1号議案を承認頂ける方は挙手を願う。事務局員はカウントを。

(事務局員報告)会場111名中挙手の数は90名。

(石原議長)第1号議案は承認された。

2) 第2号議案：平成24年度事業計画(案)・ 予算(案)に関する件

(坂崎)平成24年度の事業計画から説明したい。平成24年度重点事業としては1. 公益法人制度への対応 2. 情報共有の推進 3. 訪問リハの体制強化 4. 協会目的を達成するための渉外活動推進 5. 組織の検討を挙げている。

公益事業1は、県民の医療保健福祉の向上に資する事業として、県民公開講座の開催・スポーツリハに関する研修会の開催・保険診療研修会の開催・療育支援事業・研究助成・県民向けの情報発信等を予定している。今後、法人申請の過程で一部修正も予想されるが、微細修正は理事会に一任頂くことを含め審議頂きたい。

公益事業2は、関連団体との協力連携のもと行う事業で、公開講座の共同開催等がこれに当たる。

公益事業3は関連職種の資質向上に資する事業で、学会等公開学術研修会の開催等がある。

共益事業は会員の資質向上のための事業で、新人研修会開催などがこれにあたる。

管理についての事業は、公益事業に関する連絡調整や事務局業務・総会理事会の開催などである。

引き続き予算について説明したい。収支予算内訳表をご覧頂きたい。この書式が正式なものとなる。上段の科目で県民の医療・保健・福祉の向上に資する事業が公益1、医療・保健・福祉関連団体との協力連携に関する事業が公益2、医療・保健・福祉関連職種の資質向上に資する事業が公益3を意味する。詳細は参考資料としての収支予算書を確認頂きたい。

収入は、会費収入・事業収入等で30,971,000円である。支出は事業費支出で26,423,257円、管理費支出で7,734,608円、合計で34,157,865円である。次年度の収支としては300万程赤字であるが、これを補填するために先ほど補正予算を組ませて頂いた。これにより次年度は事業が成立することになる。法人となった際には法人の記念式典・パーティー等を予定。

以上、平成24年度の事業計画案と予算案である。宜しく審議頂きたい。

(石原議長)フロアより質問等あれば挙手を。

～質問等無し～

(石原議長)第2号議案を承認頂ける方は挙手を願う。事務局員はカウントを。

(事務局員報告)会場111名中挙手の数は94名。

(石原議長)第2議案は承認された

3)その他

(石原議長)その他、フロアより提案・意見等あれば挙手を。

～挙手無し～

8. 選挙結果報告

(石原議長)選挙管理委員長より選挙結果報告を。(奥村選挙管理委員長)熊本県理学療法士協会役員の任期が満了するので役員選挙を実施。その結果

を報告する。定数は会長1名・会長含め理事12～15名以内・監事2名。立候補受付を1月29日～2月13日の期間行い、以下の立候補者があった(会場にて下記の氏名を提示)。

定款11条に示す役員定数以内のため、今回は無投票にて当選か決定。ただし監事が1名不足のため補充が必要。新役員の合議にて推薦して頂き、新会長より補充理由の説明の後、総会にて承認の採決を頂きたい。

会長(1名)

・北里堅二(菊南病院)

理事(14名)

・飯星雅朗(熊本駅前看護リハビリテーション学院)

・田島徹朗(九州中央リハビリテーション学院)

・大脇秀一(朝日野総合病院)

・増田安至(熊本総合医療リハビリテーション学院)

・筒井宏益(江南病院)

・野津原豊(野津原内科医院)

・野間俊司(鴻江病院)

・佐藤 亮(勝久病院)

・大島正道(熊本セントラル病院)

・前田比呂志(介護老人保健施設てんすい倶楽部)

・三宮克彦(熊本機能病院)

・川上照美(介護老人保健施設おとなの学校本校)

・光本しのぶ(訪問看護ステーションきらら)

・坂崎浩一(熊本総合医療リハビリテーション学院)

監事(1名)

・中島喜代彦(九州中央リハビリテーション学院)

(会長)監事1名を理事会から推薦する。引き続き寺川氏に監事をお願いしたく推薦させて頂いた。

(石原議長)監事補充について寺川氏の推薦があった。承認される方は挙手をお願いしたい。

(事務局員報告)会場111名中挙手の数は93名。

(石原議長)監事補充に寺川氏を承認。

監事(補充1名)

・寺川純晴(デイケアふれあい倶楽部)

被選任者は、就任を承諾した

9. 議長解任

10. 閉会の辞

(前田副会長)

以上、閉会

各部・委員会報告

渉外部

部長 坂崎 浩一

各種委員の調整

- 1) 平成 24 年度熊本市地域リハビリテーション協議会各委員
 - ・熊本市地域リハビリテーション協議会委員
北里会長・野津原理事
 - ・在宅サービス手引き書編集委員会委員
川上理事
 - ・訪問介護検討委員会委員
筒井理事
 - ・リハビリテーション検討委員会委員
大脇理事
- 2) 熊本市健康フェスティバル実行委員会
大島副会長 並びに 菊阿地区にて調整中
- 3) 熊本地域リハビリテーション支援協議会
北里会長・坂崎専務理事
- 4) 阿蘇地域糖尿病保健医療連携委員の調整
阿蘇温泉病院 林氏
- 5) 熊本県医療保健福祉団体協議会 役員調整
北里会長
- 6) 熊本県プライマリケア研究会 世話人調整
北里会長
- 7) CITY エフエム出演者調整
飯星理事 (7月4日予定)

厚生部

部長 藤原 慶太

今年度も火の国ハイツ(熊本市内)にて新人研修会を6月30日～7月1日に開催予定です。

新人研修と懇親会を行う当初の目的は出来るだけ新人の方々や理事・役員間の交流を深めて頂きたいと開催しております。

関係各所の皆様には今年度も円滑に開催できます様、ご協力とご理解の程を宜しくお願い致します。



保険部

部長 河島 英夫

去る4月24日、フードパル熊本の熊本市食品交流会館多目的ホールにおきまして、第1回保険診療研修会を開催いたしました。参加者数は178名にのぼり、多くの方々のご参加に頂きましたことに感謝を申し上げます。



さて、続きではありますが、平成24年度第2回保険診療研修会を下記の日程で開催いたします。詳しくは研修会案内をご参照ください。

記

<第2回保険診療研修会>

日時：平成24年6月27日(水) 19:00～21:00

場所：フードパル熊本

熊本市食品交流会館 多目的ホール

テーマ：「リハ関連の介護報酬改正点の整理」

講師：(社)熊本県理学療法士協会

理事 光本 しのぶ

保険部 坂本 義孝

参加費：会員 1,500円 非会員 3,000円

今年度は、医療保険と介護保険の同時改正の年となりました。第2回保険診療研修会は、主に経験年数が4～5年の方を対象に、介護報酬の改定点を整理してお伝えしたいと思っております。

会場は、270台収容の駐車場と300名収容のホールとなっておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

いつもお世話になっております。教育部部長の前田です。新緑がまぶしい季節ですね！

早いもので、平成24年度も2ヶ月が過ぎようとしています。今年度は診療報酬・介護報酬同時改定があり、混乱の中のスタートでした。そろそろ新入職員の皆様も含め落ち着いてきた頃でしょうか？

さて、教育部では発足5年目を迎え、事業も徐々にですが、安定してまいりました。平成24年度も臨床ではなかなか学べない、でもとても臨床に役立つ内容の研修会を計画いたしております。多くの会員の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

さて、恒例の各班の活動です...

◎卒後教育班: 4年目になります各ブロック・地区での卒後教育研修会(初級編・中級編)は皆様のご協力の下随時開催されます。卒後教育班では、各ブロック・地区の皆様へ、よりスムーズに研修会を開催・受講していただけるよう、開催担当の皆様と連絡を取り合っております。お忙しいとは存じますが、平成24年度も引き続き積極的にご参加いただきますようお願い致します。ご意見・ご要望がありましたら、今後の参考にいたしますので、ぜひ協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記教育部長のE-Mailアドレスへご意見をお寄せ下さい。

また、毎年教育部卒後教育班主催で行っております「第5回卒後教育研修会(コミュニケーションスキル研修会)」を7月8日(日)に熊本リハビリテーション病院2階の地域交流ホールにて、講師に西日本リハビリテーション学院の松本 泉氏をお招きして行います。臨床経験を積む毎に違った学び(理解)になるようにと、3年で一回りするよう考えて構成してあります。以前参加した方も、新たな発見や気づきを得る事が出来ると思います。ぜひご参加いただきますようお願い致します。

◎臨床実習教育班: 「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？すでにお読みになった方々とお話しましたが、かなり好評です。

各施設1部の配布ですが、pdfにてダウンロードできますので(<http://www.kumamoto-pt.org/>)ぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思います。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていただければと思います。臨床実習教育班では通算第6回目になる臨床実習教育研修会を6月3日(日)に開催します。熊本大学教授の吉田道雄先生を講師にお招きし、教育と対人関係スキルについての研修会を行います。臨床実習だけでなく、基本的な教育の視点に立ち返った学びを提供いたします。締め切りは過ぎましたが、もしどうしても参加したいと思われる方は、私(下記メールアドレス)までお問合せ下さい。通算7回目の研修会は例年通り星城大学の川大先生をお招きし、臨床実習教育の基礎について「熊本県版スーパーバイザーの手引き」を参考にした講演を頂く予定です。こちらはこれからSVになる方や、SVの経験が浅く指導に悩んでいらっしゃる方必聴です。是非ご参加下さい。

◎管理・運営教育班: 管理者教育カリキュラム(第1ステージ)がいよいよ来月に迫りました。準備も佳境に入っております。マネジメントについてのコンテンツでは新たな講師をお迎えし、さらにグレードアップした内容になると思います。6月21日(木)開講で全4クール行ってまいります。これから部署を受け持つ準備をされる方や、現在役職を持っていてお悩みの方、いつかは私も役職を勝ち取りたいという思いも持った方など、これを機会にぜひご参加下さい。皆様にとってより良い学びを提供できるように運営してまいります。ご期待下さい。また、第2ステージの計画も徐々に進行しております。いくつかコンテンツも調整し始めております。ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆もう覚えていただけましたか？教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き(第5版)を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。

- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

「かくどけい100号」にて、平成23年度新規入会の会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」ならびに、2年毎に実施しております、全会員さまを対象とした「表彰に関する資料データの更新」を依頼しましたが、データ入力をしていただいた会員方が、3月に22名、4月に8名でした。「かくどけい102号」の発送の際、各施設に1部「表彰に関する資料データの入力・更新について」を同封しておりますので、施設内で回覧いただき、速やかに入力・更新いただきますよう宜しくお願い致します。

<推薦書提出および問い合わせ先>

〒869-0502

宇城市松橋町松橋 1445 番地 1

宇賀岳病院 リハビリテーション部

TEL : 0964-32-3111 (内線 : 695)

E-mail : ugadake-rihashien@reimeiki.jp

担当 : 山下 智弘

宣 伝 部 部長 草野 隆夫

平成24年4月25日(水) 18:00~ 宣伝部会議

場 所 : 水前寺とうや病院

参加者 : 草野、西橋、松永、角田、大平、染田、佐田、井彩、工藤、池上、藤永、桑原、井拓、志賀、武藤、島村、石田

内 容 :

① 平成24年度の第10回くまもと「PTあ!(ピタ)」 と健康講座の打合せ

開催日 : 平成24年8月5日(日)

宣伝部の活動予定

- ・ポスター掲示(5月~8月)
- ・パンフの郵送準備及び発送作業
県下の高校(教育委員会に確認済)
医療系の養成校
介護系 訪問看護、訪問介護、
訪問リハ、居宅支援など
- ・前日と当日は人員派遣

② 新人研修での入会案内について

開催日 : 平成24年6月30日(土)

宣伝部の活動予定

- ・日本及び熊本県PT協会の活動報告
- ・入会の必要性及び特典
- ・今後の方針
- ・生涯学習について など

上記について案内する。

③ その他

- ・協会の会員証について
- ・生涯学習について(新人研修、専門領域、認定)
- ・ホームページの閲覧の習慣化

学術事業部 部長 岩田 輝彦

事業予定についてお知らせいたします。

研究助成について

平成23年4月1日より、研究助成規程が新しくなりました。ホームページ等にも掲載していますので、是非とも研究助成規程を確認のうえご利用頂きます様お願い致します。

規約審議委員会 委員長 溝田 康司

今回の活動内容について報告させていただきます。

<平成24年4月4日>

拡大理事会出席

1. 事務局より平成 23 年度事業及び収支説明
2. 平成 24 年度関連書類及び予算並びに辞令交付受け取り

<平成 24 年 4 月 5 日>

広報誌「かくどけい」大観望原稿作成。メールで広報部担当へ送付。(4 月 10 日原稿受領の連絡有り)

<平成 24 年 4 月 19 日>

会長より「かくどけい」投稿規定見直しの依頼あり。本件については、下記 4 点について検討が必要と考えられることから、再考頂くよう会長へ返信。

1. 広報誌・ホームページへの投稿に関する問題の明確化
2. 規約審議委員会へ諮問されうる内容確認(投稿規定の改廃は広報部が行い理事会が承認することと規定されている点)
3. ホームページ投稿に関する協会の基本姿勢と投稿規定の担当部署による検討の必要性
4. 「委員会の活性化」と投稿規定見直し作業の整合性の問題

<平成 24 年 4 月 25 日>

平成 24 年 4 月度月間報告作成。投稿規定見直しに関する規約審議委員会における審議の再考について理事会へ議題提出。

福祉部 部長 木原 伸一

今年度の福祉部の活動について報告します。

障害児の就学に向けた「介護教室の開催」を、ここ数年、県内各地で開催してきましたが、ニーズの高まりを含めて、今年も熊本市で、平成 24 年 8 月 26 日(日)に開催予定です。テーマは、「障害を持つ子供たちの理解～乳幼児期の発達特徴とその支援～」です。

「福祉研修会」を、9 月 8 日(土)に開催します。講師を、「命の授業」の腰塚勇人 先生にお願いしています。事故により頸椎損傷を受傷され、全身麻痺からの奇跡的な回復とリハビリテーションの体験、希望を与えたセラピストの姿勢や家族・取り巻く人々との中で大切に思われたことなど、命の大切さや生きることへのメッセージが全国的に反響を呼び、ネットの無料配信動画は 30 万人以上の人が感動し、

出版・TV など、多くの方々に影響を与えています。私達セラピストに対して、貴重なメッセージをいただける研修会になることと思いますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。(7 月中に案内文を発送予定です。)

また「介護保険関連研修会」では、介護保険分野で全国的に展開されている、(株)シダーの専務取締役でセラピストである、座小田 孝安 先生をお呼びしての、研修会を企画しています。通所サービスを含めた多角的で先駆的な取り組みについてお話しいただけることと思いますので、ご参加お待ちしております。

平成 24 年度の医療・介護保険同時改定を含めて、今後のよりよいリハビリテーションの展開について、皆様方と一緒に考えていけるような研修会を目指して行きたいと思っておりますので、今年度もどうぞよろしくお願ひします。

学術部 部長 今屋 将美

平成 24 年度がいよいよスタートしました。今年度の学術研修会は最高の企画が出来たと自負しております。第 1 回から第 3 回まで全ての研修会の盛況を見込んでおります。会員皆様には下記の予定を確認頂き、早めの参加登録手続きを宜しくお願い致します。尚、参加登録開始時期はそれぞれの会期のおよそ 2 ヶ月前を予定しております。是非日頃からの HP 閲覧を習慣付けていただき、常に最新情報をキャッチしてください。今年度も会員皆様に学術研修会でお会いできることを楽しみにしております。

それでは、下記に平成 24 年度の学術研修会ならびに理学療法士講習会のご案内を致します。

○第 1 回学術研修会

期 日：平成 24 年 6 月 16-17 日(土、日)

テーマ：「ボバースアプローチの臨床実践」

講 師：大槻 利夫 先生

(上伊那生協病院 理学療法士)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：56 名

○第2回学術研修会

期 日：平成24年9月1-2日（土、日）

テーマ：「足底板療法の最新知見」（仮）

講 師：入谷 誠先生

（足と歩きの研究所 所長）

会 場：熊本保健科学大学

定 員：50名

○第3回学術研修会

期 日：平成24年11月24-25日（土、日）

テーマ：「関節機能解剖と肩関節障害」（仮）

講 師：林 典雄先生（中部学院大学

リハビリテーション学部 理学療法学科）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：50名

○理学療法士講習会（応用編）

期 日：平成24年8月18-20日（土、日、月）

テーマ：「徒手的理学療法-Mulligan Concept:神経
モビライゼーション」

講 師：Kim Robinson

（PT、徒手的療法認定理学療法士、

Curtin University 大学院

Mulligan Concept 公認講師）

Toby Hall

（PT、理学修士、徒手的療法認定理学療法士、

Curtin University 大学院

Mulligan Concept 公認講師）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

※通訳：藤縄理氏（埼玉県立大学）

赤坂清和氏（埼玉医科大学）他

定 員：40名

以上、今年度の事業についてご案内いたしました。今年度も學術部の活動に関して会員皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



生涯学習部

部長 星澤 厚志

※変わります、新人プログラムシステム

今年度より新人プログラムシステムが大幅に変わります。生涯学習手帳は、今年度より廃止となりました。今後の単位管理は、日本協会のホームページ上のマイページにてご確認ください。マイページを見るためにはIDとパスワードが必要です。以前はがきにて各会員にお知らせされていると思いますが、お忘れの場合は、日本協会までお問い合わせください。また、単位の確認をされた時に、手帳の取得単位数とマイページの単位数が異なっている場合があります。その場合は、生涯学習部にメールにてお問い合わせください。後日対応をさせていただきます。

・修了単位の変更

修了単位が今までの18単位から15単位に変更となっています。また、修了年度も今までの3年以上から1年以内へと変更になっています。修了単位に達しましたら、リアルタイムに修了処理が行えるようになりました。

・修了処理に関して

修了処理もマイページ上で行うことになりました。修了単位に達すると、仮修了というボタンが現れますので、そこをクリックすると修了申請が行えます。仮修了から修了に変更されれば、修了処理は完了します。

・研修会内容の変更

今年度から新人プログラムのテーマが大幅に変更となりました。詳しくは別紙を参照ください。今年度は別紙の予定で研修会を行い単位認定をさせていただきます。

・お問い合わせに関して

システム変更に伴い、会員の皆様にはわからないことだらけだと思います。ご質問は随時受け付けておりますが、出来るだけメールにてお願いいたします。

メールアドレスは… kpta.lld@gmail.com

緊急の場合は…

副部長：南野大佑（所属：熊本セントラル病院）

096-293-0538

表1 新人教育プログラム(平成24年度版)熊本県士会読み替え一覧

講座名	新テーマ	旧テーマ	熊本県士会生涯学習部の読み替え
必須初期研修	A-1理学療法と倫理	I-2 職業倫理・管理運営	生涯学習部で担当
必須初期研修	A-2協会組織と生涯学習システム	I-1 協会組織と生涯学習システム	生涯学習部で担当
必須初期研修	A-3リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	II-2 人間関係及び労働衛生	卒後教育班「リスク管理」 卒後教育班「KYT」
必須初期研修	A-4人間関係および接遇 (労働衛生含む)	II-2 人間関係及び労働衛生	卒後教育班「全人的アプローチ」 卒後教育班「ラポール形成」
必須初期研修	A-5理学療法における関連法規 (労働法含む)	I-4 理学療法士・作業療法士法および関係	生涯学習部で担当
理学療法の基礎	B-1一次救命処置と基本処置		検討中
	B-2クリニカルリレーズニング	II-1 学問としての理学療法と研究方法論	検討中
	B-3統計方法 ※1	II-6 症例検討II	生涯学習部で担当
	B-4症例報告・発表の仕方 ※1	I-6 症例検討I	生涯学習部で担当
理学療法の臨床	C-1神経系疾患の理学療法	I-5 トピックスI	学術部研修会、小委員会研修会
	C-2運動器疾患の理学療法	II-5 トピックスII	学術部研修会、小委員会研修会
	C-3内部障害の理学療法	III-5 トピックス	学術部研修会、小委員会研修会
	C-4高齢者の理学療法	II-3 生活環境支援	高口先生 公益事業
	C-5地域リハビリテーション (生活環境支援含む)	I-3 地域におけるリハビリテーション	訪問リハビリテーション研修会
	C-6症例発表	III-6 症例検討III	各学会発表
	C-7士会活動・社会貢献		検討中
理学療法の専門性	D-1社会の中の理学療法 (政策含む)	II-4 社会の中の理学療法 III-I 理学療法士と保険制度	生涯学習部で担当
	D-2生涯学習と理学療法の専門領域	III-2 生涯学習と理学療法の専門領域	生涯学習部で担当
	D-3理学療法の研究手法論 (EBPT含む)	II-1 学問としての理学療法と研究方法論	生涯学習部で担当
理学療法における 人材の育成	E-1臨床実習指導手法論	III-4 理学療法の教育手法論	臨床実習教育班 「臨床実習教育研修会」×2
	E-2ティーチングとコーチング (コミュニケーションスキル含む)		卒後教育班「コミュニケーションスキル研修会」
	E-3国際社会と理学療法	III-3 世界の理学療法	対応せず

※1 理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除

※2 上記読み替え一覧については変更する可能性がありますので、熊本県理学療法士協会のホームページでご確認下さい。

学術事業部による文献紹介公募のお知らせ

学術事業部では会員の皆様の学術活動支援を行うために、文献紹介を会員の皆様より公募しています。読まれている文献を他の会員にも紹介していただければ幸いです。

【募集内容】

理学療法に関連する書籍、雑誌の要約を募集いたします。執筆されている言語を問いません（英文、和文いずれでも結構です）。出版年による制限は設けておりませんができるだけ近刊を募集しております。本邦の他の雑誌で要約紹介済みのものはご遠慮下さい。

【具備すべき条件】

文字数は1200字程度A4サイズとしてください。要約された論文の題名・著者名・雑誌名・巻・頁(最初-最終)、発行年(西暦)をお書きください。

【募集期間】

随時募集

【採否】

「かくどけい」1号に対して2文献の掲載を行います。尚、「かくどけい」への掲載をもって受理とさせていただきます。

「かくどけい」に掲載された方には寸志(図書カード)を贈呈させていただきます。多数の御応募をお待ちしております。

【募集方法】

下記宛てに郵送、またはE-mailで送付してください。

【募集・問い合わせ先】

〒861-4193 熊本市南区近見5-3-1

済生会熊本病院 リハビリテーション部 仁田脇 宣男

電話：(096)351-8000 FAX：(096)351-8063 E-mail：nobuo-nitawaki@saiseikaikumamoto.jp

事務局だより

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 03/02 天草ブロッグ訪問：天草中央総合病院
- 03/03 熊本県高次脳機能障害検討委員会研修会
：熊本大学医学部附属病院
- 03/05 法人事業審議委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 03/06 九州合同学会会場予約のための審議会
：崇城大学市民ホール
- 03/07 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 03/09 熊本保健科学大学卒業式：熊本保健科学大学
- 03/10 熊本総合医療リハビリテーション学院卒業式
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 03/11 熊本県理学療法士協会第2回総会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 03/15 熊本県地域リハビリテーション推進会議
：くまもと県民交流館パレア
- 03/21 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 03/24 日本理学療法士協会九州ブロッグ第2回士会長会議：くまもと県民交流館パレア
- 03/27 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会第5回実行委員会：九州中央リハビリテーション学院
- 03/28 熊本市介護認定審査会委員研修会：熊本市役所
- 04/02 熊本保健科学大学入学式：熊本保健科学大学
- 04/04 熊本市介護認定審査会：旧熊本市西保健福祉センター
- 04/04 第1回拡大理事会・第1回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 04/16 平成23年度事業監査：協会事務所
- 04/04 熊本市介護認定審査会：旧熊本市西保健福祉センター
- 04/18 第2回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 04/19 新公益法人移行相談：熊本県庁
- 04/22 九州ブロッグ教育・学術担当者会議
：九州中央リハビリテーション学院
- 04/23 熊本県高次脳機能障害検討委員会
：熊本大学医学部山崎会館
- 04/24 第1回保険診療研修会：熊本市食品交流会館
- 04/25 熊本県地域リハビリテーション支援協議会研修会
：くまもと県民交流館パレア
- 04/26 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会第6回実行委員会：九州中央リハビリテーション学院

会員数 (H24. 4. 30 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 165 名

ブロッグ名	施設数 〔 ()内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	254 (51)	1127
県北	61 (10)	188
八代	70 (9)	218
天草	40 (3)	84
県南	17 (1)	38
合計	442 (74)	1655

掲示板

■ 平成24年度入会手続きについて

随時受付中ですが、**6月の新人研修会まで**にお手続き
下さいますようお願い致します。なお、手続き方法は
次のどちらか一方でお願いします。

①Web 申請

日本理学療法士協会ホームページよりご
登録ください。

②書面による申請

熊本県理学療法士協会事務局へ郵送にて
ご提出下さい。用紙が必要な方は事務局
までご連絡下さい。

※①②いずれの場合も熊本県理学療法士協会入会申込
書の提出が必要です。書式は当協会ホームページより
ダウンロード可能です。事務局へ郵送にてご提出くだ
さい。

■ 「県外異動」、「入会」、「休会」、「復会」、

「退会」に関し熊本県理学療法士協会書式による書類

の提出が必要です。

各種届出書式に関しましては、熊本県理学療法士協会
会員名簿をご参照下さい。ご不明な点は事務局までご
連絡下さい。

なお、書式は当協会ホームページよりダウンロード可
能です。ご活用下さい。



■ 平成 23 年度会費納入について

昨年度の会費が未納の方は、速やかな会費納入にご協力をお願い申し上げます。

■ 平成 24 年度会費納入について

今年度の会費納入締切（お振り込みの場合）は、6 月 15 日になっています。また、楽天カードの決済日は、6 月 27 日です。残高のご確認をお願いします。

会費銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000 円
名義：社団法人
熊本県理学療法士協会
理事 北里堅二
電話：096-389-6463
住所：熊本市東区小山 2-25-35

平成 24 年度公益財団法人肥後医育振興会医学研究助成金応募案内

1. 助成の趣旨

公益財団法人肥後医育振興会は、熊本県における医学振興に必要な教育・研究の助成及び委託事業を行い、もって地域医療の向上と県民の健康増進及び日本国内の医学・医療の進展に寄与することを目的としており、この目的を遂行するため、以下の要領で医学研究助成金を公募する。

2. 助成対象

熊本県下の医・歯・薬・保健学系教育機関又は医療関係機関に所属する個人又はグループとする。

3. 応募資格

熊本県下の医・歯・薬・保健学系教育機関又は医療関係機関に所属している者で、応募締切日において、満 37 歳未満の者とする。

4. 募集期間

平成 24 年 6 月 29 日（金）まで（期限厳守）

5. 応募方法

申請書は財団の書式によるものとし、推薦書（1 部）を添付して財団事務局へ提出すること。

6. 助成金

1 件 15 万円とし、4 件以内を採用予定。

7. 選考

公益財団法人肥後医育振興会助成選考委員会が選考にあたり、理事会で決定する。

8. 注意事項

- 1) 推薦者は、医・歯・薬・保健学系の教育機関にあっては教授又はこれに相当する者、医療関係機関にあってはその機関の長とする。ただし、公益財団法人肥後医育振興会助成選考委員会委員は推薦者になることはできない。
- 2) なるべく多彩なフィールドの研究を支援するため、過去の受賞者（平成 8 年度～平成 23 年度）は応募を控えること。
- 3) 本財団以外からの研究助成を受けていない研究者や研究課題を優先する。
- 4) 研究費の使途については、特に制限はないが、15 万円以内で計画すること。
- 5) 研究業績の欄は主なものとしているので規定の枠内に入る範囲で記入すること。
- 6) 助成金受賞者は、本助成金による研究成果についての報告（400 字原稿用紙 4 枚程度）を、肥後医育振興会事務局へ提出しなければならない。この報告書は公表する。

9. 提出先

〒860-0811 熊本市中央区本荘 2 丁目 2-1 肥後医育記念館内
公益財団法人肥後医育振興会事務局
TEL&FAX 096-373-5425

応募案内及び申請書等は本財団のホームページ上で閲覧できます。

ホームページ <http://www.119higo.com/>



八代ブロック

塚島 靖博

5月になり夏みたいに暑い日が続いています。ゴールデンウィーク後半はとてよい天気にも恵まれましたが、各地では竜巻や事故など大変だったようです。連休も交代で出勤して、日曜日のみ休みとなりました。365日体制まではなっていませんが、スタッフが増員されると移行していくのでしょうか。

昨年も書きましたが H6・12月会員数、八代ブロック 39名、県協会員数 347名。今年度4月時点で八代ブロック会員 221名。新人を含めるとどうなるのでしょうか？顔が見えません！各地区の懇親会には必ず参加を目標にします。えっ？酒が飲みたいだけでしょうか？はい、その通りです。

ブロック内での学術部卒後研修会は昨年度と同様に、県南ブロックと共同開催を予定しております。9月か10月には必須ではなくなりましたが、症例検討Ⅱを地区ごとではなく、八代ブロック全体で開催したいと思っています。

県南ブロック

藤井 崇浩

県士会の皆さま、初めまして。指定通所介護事業所「はるかぜのいえ」の藤井と申します。今年度より、県南ブロックの取りまとめ役を賜わることになりました。前任の新穂 PT は、細部まで、きめ細かにブロック長の仕事をされていたので、それを目標に精進して参りたいと思います。

さて、日本国籍を取得した日本文化研究者のドナルド・キーン氏が東日本

大震災後1年を経過した日本に対して、苦言を呈しています。「日本人は力を合わせて東北の人を助けると考えていました」との話に続いて、「東京は(電気が)明るい。必要のない看板がたくさんある。東京だけではない。忘れていないんじゃないか。まだやるべきことは、いっぱいあると思います。」と語っています。

痛い言葉です。確かに昨年末のクリスマスシーズン、近所のイルミネーションは、いつもと変わらないくらい派手だったと感じました。節電の夏が過ぎ冬を越え、それでも電力量が足りるとなると、日常生活も例年通りになっていったのかもしれませんが。

「初心忘るべからず」とはよく言われるものの、どれくらいの人忘れなでいられるのでしょうか。理学療法士を志した頃の気持ち、学生時代に実習で初めて患者様に接した時の緊張感、不安を感じながらも理学療法士として働き始めた頃のこと……。これらを念頭に置きながら、日々の診療・学生指導に対峙していきたいと思っています。

県北ブロック

菅原 大志

はじめまして。有明成仁病院の酒見先生の後任として、今年度、県北ブロックを担当させて頂くことになりました菅原と申します。

現在、山鹿のデイサービスセンター 菖蒲園という介護施設に勤務しており、今の職場は今年で5年目になります。

山鹿の町に生まれ育ち、理学療法士として働いているのは現在に至るまで全て県北の圏域内で、更には住まいもそうです。個人的には、これらの町やそこに住む人々には愛着を感じますし、その町やそこで暮らす人々に対して、理学療法士として出来る形での貢献をしたいと強く思います。この立場をお受けするのを機に、微力ですが新たな気持ちで頑張っていこうと思います。

皆様どうぞお見知りおき下さい。

さて、県北ブロック本年度始めの活動としては、5月に地区責任者・学術委員会合同会議を開催後、6月3日(日)

に荒尾市健康福祉まつりへの協力を予定しております。このイベントは、例年多くの参加者が来訪され盛況です。地元の荒尾地区の先生方にはご苦勞をお掛けしますが、宜しくご協力頂き、順調なスタートが切れればと思います。

今年度からは新人発表の義務撤廃などの変更があり、それらに伴ってブロックでの活動や運営についても変更があります。この変化に対して、ブロックの皆様としっかり連携しながら対応していきたいと思っております。尚、余裕があれば、勉強会や地区間懇親会なども企画して、更に皆様の交流を深めることが出来ればと思っております。

宜しくお願い致します。

天草ブロック

水田 順司

天草ブロック長2年目になります東整形外科の水田順司と申します。今年も前年度以上に定例勉強会等を上手く活用し、会員の皆様へ様々な情報提供ができるように頑張りますので皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度の天草ブロックの定例勉強会は年間を通して「股関節」をテーマに各先生方に講師をお願いし、勉強会を開催していきたいと思っております。また天草リハビリテーション研究会としても11月に初の合同勉強会を予定しております。これを機会により一層リハビリテーションに従事する職域で色々な交流を深めていき、天草の患者様に対し、よりよいアプローチを提供できるようにしていきたいと思っておりますので、皆様ご協力をお願いいたします。

さて4月22日には毎年恒例の天草リハビリテーション研究会として理学療法士だけでなく作業療法士、言語聴覚士の先生方も一同に会しまして総勢53名の方に参加を頂き、最後まで和気あいあいと会食を楽しませていただきました。当ブロックへは新卒2名、中途採用者4名の方が新たに加わりました。新しく加わられた先生方も積極的にブロック活動に参加いただきますよう、お願いいたします。また、懇親会の中では4月28日に、天草ブロックの勉強会の企画、運営をしていただ

いる学術部の河浦病院に勤務されている山本龍誠先生と当院に勤務しております姉川由佳先生がめでたくご結婚されるとの事で、サプライズでケーキ入刀をしていただきました。これからの天草ブロックの活動になくはならない二人ですので、これからの益々のご活躍をお祈りしたいと思います。尚、今回の歓迎会を企画・運営していただきました先生方には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

最後になりますが私の任期間のブロック活動の目標としては、各施設間の横のつながりを作る事です。勉強会でもできるだけ実技などを盛り込み、会員同士のコミュニケーションもとれるように工夫し、勉強会後の懇親会も企画していきたいと思っております。各施設間を越え臨床での悩みなど色々な事を話しあえる機会にできたらと思っておりますので、是非若い先生方はご参加いただければと思っております。



天草リハビリテーション研究会歓迎会
(H24.4.20)



山本龍誠先生&由佳先生お幸せに！

大 観 望

『減災リハビリテーションマネジメントのすすめ』

規約審議委員会委員長
熊本保健科学大学
溝田 康司

昨年3月11日に発生した東日本大震災では想像を絶する津波によって多くの尊い命が一瞬にして奪われ、容赦ない自然の脅威に打ちのめされました。

怒りを買う表現であることは承知の上で言わせて頂ければ、すでに吉村昭が危惧した通り、幾度となく三陸海岸を襲った津波による被害の経験も時間とともに住民の記憶から遠のき、生業の利便性が優先され、より沿岸部へと生活拠点が移動し、さらには、巨大な防潮堤への過信が被害を一層深刻なものにしたという、いわば「人災」という一面も考えなければいけないでしょう。

最近熊本でも地震が割合多く発生し、皆さんも防災を含め関心を強くしているところではないでしょうか。

熊本では直下型地震が想定されていますが、過去にはM6クラスの地震が幾度か発生し、多くの被害が出たことが史記として記録されています。また1792年には島原半島普賢岳の前山（眉山）がM6.4の地震により大崩落を起こし、20mを越す津波によって多くの死者が出たことが「島原大變肥後迷惑」として記録に残されています。

熊本市を中心とした市町村部は平坦な平野が広がり、高い人口集中地域のみならず、リハビリテーションを提供する医療施設の多くも集中して立地している地理的環境にあります。通所系サービス、訪問系サービスといった地域リハビリテーションの活動も活発な地域でもあるでしょう。しかし、私たちが対象としている高齢者や障害者は単に地域に生活する対象者というだけにとどまらず、いったん大規模な地震や津波が発生すれば、人の手を借りなければ避難することすらままならない災害時要援護者でもあるのです。

自分の家で安全、安心に暮らすための地域リハビリテーションの推進は結構なことですが、それを支える責任において、私たちは、彼らを災害の魔の手からいかに守るか、遠ざけるかという命題についてもしっかりと考え、取り組まなければならないのではないのでしょうか。

「減災リハビリテーションマネジメントのすす

め」私の造語ではありますが、是非皆さん自らを責任者の一人と想定して、一考してみてはいかがでしょうか。

『伝える力』

広報部部长
熊本機能病院
坂田 大介

今年度より、前任の勝久病院・佐藤亮先生から広報部長を引き継ぎました坂田と申します。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

平成23年度第2回の総会に出席された方はご存知と思いますが、今年度より熊本県理学療法士協会の広報誌「かくどけい」は、会員の皆様に対し、CD-Rでの配布から当協会のホームページよりPDFファイルのダウンロードへと変更になりましたことをご報告させていただきます。

さて、当協会も北里会長はじめ理事の皆様方を中心に、公益法人化を目指しご尽力頂いている途中ではありますが、「かくどけい」も、理学療法並びに理学療法士がいかに社会に対して貢献しているのか、かつ貢献していくことができるのかを、一般市民の皆様方に対し分かりやすい言葉や表現でアピールすることが必要と考えています。私自身が日々の臨床において心がけている点の一つとして、患者さんに対しご自分の身体が一体どういう状態になっているのか？、それを良い方向に変えていくためには、患者さん自身に何に取り組んで頂かないといけないのか？を分かりやすい言葉や表現で「伝える」ことが重要だと考えています。

以前読んだ本では、「伝える」とは「話す」こと、「書く」こと、そして「聞く」ことであると記載されました。「かくどけい」は、その中でも「書く」ことで様々な情報を「伝え」ようとしているわけですが、書き手側から一方向での情報発信は、コミュニケーション不足を招きかねません。そのためには、会員や一般市民の皆さん方の率直なご意見を「聞く」ことを忘れずに、紙面作りに取り組んで行きたいと思っております。改めて、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

心士会 便り福岡

『魔法の言葉』

私が去年秋に地域の秋季大祭にて神主さんよりお聴きしたお話です。

ある青年が海外旅行をした時の事、お金もなく泊まる所に困り、ある家に立ち寄ったときにそこのおばあさんに、「ツキを呼ぶ魔法の言葉を教えましょう。」と言われたそうです。みなさんはその言葉は何だと思えますか？

ピンと来た方もおられると思いますが、その言葉は「ありがとう。」だったそうです。「ありがとう。」何の変哲もない、感謝の気持ちを伝えるときに良く使う言葉です。

ただ、神主さん曰く、この言葉を少し掘り下げて考えてみると、面白い事に気付くそうです。「ありがとう、…。」このありがとうに続く…には、「おかげさまで助かりました。」など相手を思いやる言葉や肯定的な言葉は入りますが、決して「この野郎！」などの攻撃的な言葉や否定的な言葉は入りません。ある大学教授が対向車の不注意で避けられない正面衝突の交通事故に遭う直前にこの「ありがとう。」という言葉を探り返し唱えたそうです。その後、車は正面衝突したわけですが。そのとき相手のドライバーにかけた言葉は罵声ではなく、「(ありがとう、ありがとう、ありがとう、…) お怪我はありませんか？大丈夫ですか？」だったそうです。どんなに相手を否定したい場面でも、最悪の場面に直面しても、この「ありがとう。」という呪文を唱えることにより、相手を思いやったり、最悪の場面も肯定的に捉えることができたり、前に進む活力を貰うことができる、とのことでした。そう、この「ありがとう。」という言葉には常に相手を思いやることで人と人を繋ぎ、そのことが積み重なりさまざまなツキを呼ぶ力があるのです。

私たち理学療法士は 10 年程前から様々な面で危機的な状況におかれてきました。ただ、ここ数年を振り返ると、待望の国会議員も誕生し、また、右肩下がりであった診療報酬も前回 22 年度改定においてはわずかながら上昇傾向に転じました。今回の医療・介護保

険の同時改定においても全体的に厳しいといわれる中、比較的良好な結果に落ち着きそうな状況です。この現状をより加速させ、危機的状況を脱して明るい未来を獲得し、私達の常々の目標である「全ては患者さんのために。」を達成するには、一致団結し私たちの意思を伝えていくしかありません。

昨年日本を震撼させた未曾有の災害、東日本大震災から 1 年が経過しました。復興はまだ途上でこれからも日本中力を合わせて行かなければなりません、この 1 年で私たちが心から実感したことの 1 つに「絆」というものがあります。日本国民が心をついにし、一つの目標に向かって突き進むパワーは何をも凌駕するということを体感しました。私たち理学療法士の世界においても、この一つにまとまる、ということがこれからのキーワードになるように思われます。

そのときにこそ必要な言葉・気持ち「ありがとう。」だと思います。常日頃より「ありがとう。」という温かい眼差しを向け、理学療法士、リハビリテーション専門職同士、根底では常に強い結束力で繋がっていく必要があるように思われます。

(福岡 No.186)

学会・研修会のお知らせ

第 5 回コミュニケーションスキル研究会 現場で使えるコミュニケーション ～コーチングスキルを用いて～

日 時：平成 24 年 7 月 8 日 (日)
受 付) 8 : 45 ~
研修会) 9 : 30 ~ 12 : 30
会 場：熊本リハビリテーション病院
2 階 地域交流ホール
菊池郡菊陽町曲手 760
テーマ：「現場で使えるコミュニケーション
～コーチングスキルを用いて～」
講 師：松本 泉 氏
(西日本リハビリテーション学院
理学療法学科専任教員)
対象者：医療・介護・福祉関連職
定 員：150 名
参加費：熊本県理学療法士協会 会員 1500 円
会員外 3000 円
締切り：平成 24 年 6 月 7 日 (木)
(定員になり次第締切り)
申込・問い合わせ：
御幸病院 リハビリテーション室
中園 健太郎
e-mail : k-nakazono@miyukinosato.or.jp

医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

ハンディ・ワーマイ

重い物でいっぱいになったレジ袋など、重い物を入れた袋を持つ人を見ていると、袋の持ち手が指に食い込んでとても痛そうです。荷物が重たくなるほど袋の持ち手は細くなって、つらい作業になります。

ハンディ・ワーマイは握力の弱い人でも荷物の持ち運びを楽にするヘルパーハンドル。

自然な手の握りで、手のひらや指にかかる重量を上手に分配するようデザインされ、袋を掛けたり外したりも片手で簡単にできます。また耐荷重二五キと強度な構造で、表面は滑りにくい処理仕上げです。

女性の手のひらサイズなのでポケットにも入り、手軽に持ち運べます。年末の大掃除で整理した本や雑誌、段ボールなどをゴミ回収場所に運ぶ時にも重宝しそうです。



握力の弱い人でも楽に

週間投薬カレンダー

数種類の薬を服用していると、つい飲み間違えたり飲み忘れたりしがちです。「週間終わったら薬の数が合わない」ということはありませんか？

週間投薬カレンダーは「週間分の薬を朝・昼・夜・寝る前の分に整理して飲み忘れを防ぐカレンダーです。壁掛け式なので場所も取らず、本人、家族がひと目で服薬状況がわかります。

日にちや曜日、時間ごとに仕分けし、ポケットに薬をセットするだけ。ポケットはマチ付きで、手の不自由な人も出し入れが簡単です。飲むたびに薬袋から取り出したり、服薬の仕方を確認する手間も省けます。

薬整理用には「週間用・二週間用のカレンダータイプのほか、携帯できるバッグタイプ、ボックスタイプもあります。



壁に掛けて飲み忘れ防止

曲げ曲げハンドル

スポンジ付

手や指の力が弱くなったり、肘や肩の関節が曲がり難くなったりすると、食べ物を口元に運ぶのが難しくなります。

曲げ曲げハンドルは、首と柄が上下左右、手にフィットする形に曲げられるスプーンとフォーク。曲げたい部分に親指を当てて軽く力を入れると、楽に曲がります。ステンレス製で、曲げても簡単に折れてしまうことはありません。

柄はスポンジで太くなっているため握力の弱い人も握りやすくなっています。スプーンやフォークの形、サイズ、重量など種類も豊富です。また、オプシオンとして、自宅に今あるスプーンやフォークやペン、歯ブラシ、くしなどの柄をそのままに差し込んで、動作を楽にするスポンジハンドルもあります。



太い柄で握りやすく

PT Walker くまとの理学療法情報 熊本

★通所リハビリテーション

介護老人保健施設、病院や診療所で提供される、利用者の心身機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とする、リハビリテーションをいいます。利用者は介護老人保健施設などを訪れてこれらのサービスを受けます。

通所リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りします。

★介護予防通所リハビリテーション

介護予防を目的として、一定期間、介護老人保健施設、病院、診療所などで行われる理学療法、作業療法、そのほかの必要なリハビリテーションをいいます。

介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りします。

県内で理学療法士が通所リハビリテーションに所属している施設を地区ごとに紹介します

◆：通所リハビリテーション ●：介護予防通所リハビリテーション

★八代ブロック

- 通所リハビリテーションけいじん◆●
- 堤病院通所リハビリテーション◆●
- 通所リハビリテーションあらき◆●
- 介護老人保健施設リバーサイド御薬園◆●
- 石江病院デイケアセンター◆●
- 人吉温泉中央病院◆●
- 外山胃腸病院デイケアセンター◆●
- デイケアセンターなごみ苑◆●
- 通所リハビリテーションふれあい倶楽部◆●
- 在宅ケアセンター◆●
- 介護老人保健施設向春苑
- 介護老人保健施設アメニティゆうりん◆●
- 皇寿園通所リハビリテーション◆●
- 介護老人保健施設とまと◆●
- 通所リハビリテーション景雅苑◆●
- 介護老人保健施設青海苑◆●
- 介護老人保健施設なごみの里◆●
- 八祥苑通所リハビリ事業所◆●
- 介護老人保健施設かがみ苑◆●
- 介護老人保健施設シルバーエイト◆●
- デイケアセンター愛生◆
- 金森医院デイケア◆●
- 地域リハビリテーションセンターおんじゃく◆●
- 八代中央クリニック◆●

★熊本市ブロック 中央地区

- 九州記念病院通所リハビリテーション◆●
- 通所リハビリテーション南楓苑◆●
- 介護老人保健施設湧心苑◆●
- 介護老人保健施設のぞみ◆●
- 老人保健施設シルバーピア水前寺◆●
- 介護老人保健施設なでしこ◆●
- 介護老人保健施設フォレスト熊本◆●



* 熊本県介護サービス情報公表センターのHP(平成24年2月現在)および平成23年10月1日現在の会員名簿を元に作成しています。記載漏れ等ありました場合は御連絡下さい。

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)
熊本キャンパス (熊本県熊本市)

【修士課程】保健医療学専攻

医療福祉学研究科

【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野
ナースプラクティショナー
養成分野
助産学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
放射線・情報科学分野
リハビリテーション学分野
生殖補助医療胚培養分野
視機能療法学分野

看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
視機能療法学分野
創薬育薬医療分野
医療福祉経営学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
生殖補助医療胚培養分野
医療福祉国際協力学分野

【修士課程】医療福祉経営専攻

医療経営管理分野
診療情報アナリスト
養成分野
創薬育薬医療分野
がん薬物療法学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
医療福祉ジャーナリズム分野
医療福祉国際協力学分野



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能!
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能! (修士課程)

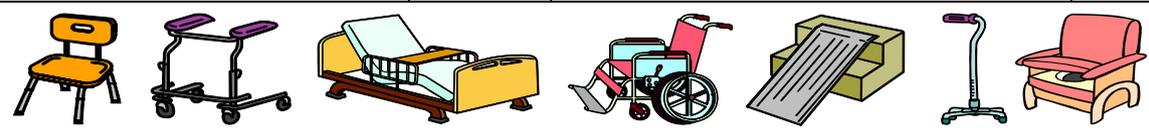
<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1
TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp
【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL:0944-89-2000 E-mail:oocamp@iuhw.ac.jp
【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本総合医療リハビリテーション学院内)
TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市東区尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市東区八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市中央区本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市中央区大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市東区小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市東区尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



事業予定表

6 月		7 月		8 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	金	1	日	1	水
2	土	2	月	2	木
3	日	3	火	3	金
4	月	4	水	4	土
5	火	5	木	5	日
6	水	6	金	6	月
7	木	7	土	7	火
8	金	8	日	8	水
9	土	9	月	9	木
10	日	10	火	10	金
11	月	11	水	11	土
12	火	12	木	12	日
13	水	13	金	13	月
14	木	14	土	14	火
15	金	15	日	15	水
16	土	16	月	16	木
17	日	17	火	17	金
18	月	18	水	18	土
19	火	19	木	19	日
20	水	20	金	20	月
21	木	21	土	21	火
22	金	22	日	22	水
23	土	23	月	23	木
24	日	24	火	24	金
25	月	25	水	25	土
26	火	26	木	26	日
27	水	27	金	27	月
28	木	28	土	28	火
29	金	29	日	29	水
30	土	30	月	30	木
		31	火	31	金
荒尾市健康福祉まつり(3日)		シティFM放送出演(4日)			
		車いすテニス大会			
		第1回熊本市ブロック北地区勉強会			
		研究促進勉強会(熊本市ブロック北地区)			
		第1回介護予防勉強会			
		第3回天草ブロック勉強会(13日)			
天草ブロック勉強会(8日)		第2回県南ブロック勉強会			

施設区分 (I)

B群

1	厚生省	
2	文部省	
3	労働福祉事業団	
4	旧三公社 (たばこ産業・JR・NTT)	
5	都道府県	
6	市区町村	
7	日赤	
8	済生会	
9	北海道社会事業協会	
10	厚生連	
11	国民健康保険協会連合会	
12	全国社会保険協会連合会	
13	厚生団	
14	船員保険会	
15	健康保険組合及びその連合会	
16	共済組合及びその連合会	
17	国民健康保険組合	
18	公益法人 (社団・財団)	
19	医療法人	
20	学校法人	
21	会社	
22	その他の法人	
23	老人福祉施設	
24	身体障害者更生援護施設	
25	児童福祉施設	
26	精神薄弱者援護施設	
27	その他の社会福祉施設	
28	個人	
29	その他 (含む自宅)	

A群

医療施設	病院	大学病院	1 - 1
		総合病院	1 - 2
		老人病院	1 - 3
		小児病院	1 - 4
		一般病院 (上記以外)	1 - 5
		精神病院	1 - 6
		結核病院	1 - 7
		らい病院	1 - 8
		その他	1 - 9
	診療所	診療所・医局	2 - 1
医療福祉中間施設		老人保健施設	3 - 1
		訪問看護・PT	3 - 2
		在宅サービス	3 - 3
		その他	3 - 4
福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	4 - 1
		特別養護老人ホーム	4 - 2
		老人福祉センター	4 - 3
		老人デイサービス	4 - 4
		その他	4 - 5
	身体障害者更生援護施設	重度障害者授産施設	5 - 1
		肢体不自由者更生施設	5 - 2
		身体障害者療護施設	5 - 3
		重度身体障害者授産施設	5 - 4
		身体障害者更生相談所	5 - 5
		身体障害者福祉センター (A・B型)	5 - 6
		その他	5 - 7
	児童福祉施設	肢体不自由児施設	6 - 1
		肢体不自由児通園施設	6 - 2
		重症心身障害児施設	6 - 3
		薄弱児通園施設	6 - 4
		その他	6 - 5
教育・研究施設		養護学校	7 - 1
		PT教育施設	7 - 2
		研究施設	7 - 3
		その他	7 - 4
行政関係施設		保健所	8 - 1
		市町村保健センター	8 - 2
		国県市町村 (行政)	8 - 3
		その他	8 - 4
保健 (健康産業)		スポーツ関係	9 - 1
		フィットネス施設	9 - 2
		企業	9 - 3
		その他	9 - 4
その他		自宅	0 - 0
		営業 (自営・開業)	0 - 1
		その他	0 - 2
		海外	0 - 3

異動届記載用資料

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日		
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日		
フリガナ			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)		
氏 名	姓	名	印			
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度	
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)	
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 [][][][] - [][][][][]					
	住所		都道府県			
	電話			FAX		
Eメールアドレス						
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ					
	名 称					
	所属部署					
	〒 [][][][] - [][][][][]					
	住所		都道府県			
電話			FAX			
施設区分	I A群	— B群		II	—	

会費納入	本部会費 年度納入済	連絡事項	
	都道府県士会費 年度納入済		
	クレジットカード発行 (○で囲む)	済 未	

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄>

<士会受付番号> _____

_____ 士会事務局長 _____ 印 _____ 平成 年 月 日

< 個人情報について >

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会 退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。



広報誌「かくどけい」 投稿規定

- 1) 本誌の目的
本協会誌「かくどけい」は、(社)熊本県理学療法士協会の広報誌で、会員、行政並びに関連団体に対する広報及び情報提供を目的に発行されるものです。
- 2) 発行日及び発行回数
奇数月の月末 6回/年
- 3) 投稿者の資格
投稿は原則として会員のみとします。ただし、広報部が認めた場合は、この限りではありません。
- 4) 投稿の方法
協会事務局に、原則としてメールで送付してください。
- 5) 投稿記事の内容
理学療法全般に関する事項(活動、研究、研修会案内など)を対象とします。原稿中に他人の著作権に係る著作物を引用した場合は、出典を記載し、できれば著作者に了解を得てください。また、次に該当する原稿は掲載いたしません。
 - ・他人を誹謗・中傷するような記述のある原稿。
 - ・不正確、未確認な事項に係る記述のある原稿。
 - ・プライベートな事項に係る原稿、品位を損ねる記述のある原稿。
 - ・営利目的の広告、求人広告。
- 6) 原稿の量
原稿は概ね 2000 字前後 (A4 用紙 1 枚) で完結するように作成してください。
- 7) 原稿の締切り
奇数月の第 1 土曜日までに提出してください。
- 8) 原稿の採択
受理した原稿は広報部が「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。掲載の可否について広報部にて決定できないものは、理事会で審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。
- 9) お問い合わせ先

(社)熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

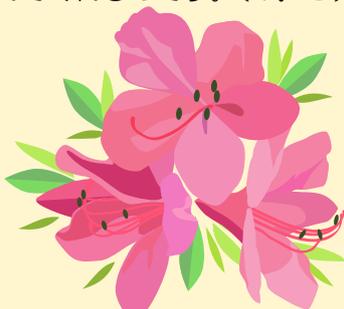
E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp



編集後記

気持ちのいい季節になりました。

新年度がはじまり、当院でも新人セラピストを迎えました。新人スタッフの初々しさを見ていると、PTとして仕事ができる喜びと、緊張の日々をなつかしく思います。PTになって 10 年目。日々の業務に追われていると、悲しいことに「初心」をどこかに忘れてしまうことがあります。新人スタッフは、そんな私に「喝!」をいれてくれるのです。(Y. O)



社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数 第 103 号 通算 140 号

発 行 日 平成 24 年 5 月 28 日

発 行 人 社団法人熊本県理学療法士協会

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35

TEL/FAX 096-389-6463

S T A F F

坂田 大介

岩村 泰年

江口 宏

中野 真実

緒方 美湖

山田祐理子

奥 蘭 彩

富 永 誠

野田 智愛

北岡 千春

渡邊 知子

松本 美香

有馬 正英

古川 晃次

財満 麻美

渡邊 大輔

福田 圭祐

南 留美子

岩見 幸省

野尻 晋一 (表紙)

